

甲南大学公開講演会

阪神水草事情

— 阪神南部地区に於ける水草類の現状 —

講師

水田 光雄（みずた みつお）氏

講演内容

阪神南部地域には、猪名川・武庫川、ため池、水田など、都市化の中で残された多様な水辺環境があります。

そこには、オニバス、デンジソウ、ツツイトモ、ササバモなどの希少な水草が生育する一方、開発や環境変化、外来水草の侵入などによる課題も生じています。

長年にわたり阪神の水辺を調査してきた水田氏が、各地で確認された水草類の現状と、これからの保全について紹介します。

日 時： 令和8年9月26日（土）13：00～14：30

会 場： 甲南大学岡本キャンパス1-33講義室

参加費： 無料・事前申込不要（当日、直接会場へお越しください）

主 催： 甲南大学理工学部生物学科（植物細胞工学研究室）

協 力： 甲南大学社会連携機構 大学コンソーシアムひょうご神戸

後 援： 甲南大学 統合ニューロバイオロジー研究所



デンジソウ(2024.8.11伊丹市)



オニバス(2019.9.16伊丹市西池)



ミズヒマワリとアサギマダラ
(2023.10.3西宮市武庫川)

水田 光雄（みずた みつお）氏

兵庫県伊丹市在住。

植物防疫官として45年間、海港・空港における植物検疫業務に従事し、植物病害虫の侵入防止に携わる。

退職後も、帰化植物、水草、湿地植物を中心としたフィールドワークを継続し、兵庫県南部を主な調査地として植物相の調査・研究を行っている。

自然観察会の企画・運営や環境学習活動にも取り組み、生物多様性の保全と自然環境の普及啓発に努めている。